

特別の教科道徳学習指導案

日 時 令和3年6月16日(水) 5校時

令和3年6月19日(土) 5校時

学校名 西東京市立田無第三中学校

対 象 第3学年

授業者

1 教材名 「一冊の漫画雑誌」(「新訂 私たちの道徳」P.158～161)

2 内容項目 B(6)「思いやり、感謝」 (B 主として人との関わりに関すること)

3 主題設定の理由

(1) 教材観

自らも被災者でありながら書店を再開した塩川さん。最新の人気漫画雑誌を塩川さんに譲った常連の若者。募金箱を設置した子供たち。それぞれの思いやりが連鎖して広がっていったことから、その根底にある「人間尊重の精神に基づく人間理解と共感」に留意して思いやりの心をもって生きることの素晴らしさ、大切さに気付かせたい。

(2) 生徒観

素直な生徒が多く、発問に対して誠実に考え答えようとする姿勢は感じられるものの、その内容は浅く、表面的な理解にとどまっている。また、自分の考えを学級の中で堂々と発表することに抵抗を感じている生徒も見受けられる。そのため、ジグソー法を用いた互いに学び合う集団的思考によって自ら進んでより意欲的に、より広く、深く考えようとする手立てとなると考えられる。

(3) 指導観

生徒の思考を深めるため、二種類の集団的活動を取り入れた。まずはロールプレイによってさまざまな立場を経験させることで登場人物たちを多角的な視点でとらえられるようにし、次にジグソー法によって他者との関りによって個の思考を進化させるようにした。特に、ジグソー活動を交流(報告)と議論(班の考えをまとめる)とで区切ることで話し合いの軸がぶれないよう配慮した。

4 授業のねらい

集団的思考の技法(ジグソー法)を用いて登場人物それぞれの立場からの行動やその思いを考えることを通して、多面的・多角的な視点から真の「思いやり」について、生徒個々の考えを深めさせる。この集団的思考の活動を通して互いに学び合うことから自らの学びを広げ、深めようとする意欲を育てる。

5 指導計画

	目標	学習活動
第1時	・本文を読み、それぞれの登場人物の思いを整理する。	・ロールプレイ ・それぞれの登場人物の立場や思いをワークシートにまとめる。
第2時	・「思いやり」の心を持ち、「思いやり」の心を受け止めて心のきずなを作っていくことの大切さに気付かせる。	・ジグソー法を用いた話し合い活動をする。

6 指導に当たって

〈ユニバーサルデザインの視点〉

- ・中心発問とその解決のためのエキスパート課題の関係性を明示することでポイントを絞り、的確な話し合い活動ができるようにする。(焦点化)
- ・グループ分け等、生徒の活動の順番や場所などを色分けや掲示資料で分かりやすくする。(視覚化)
- ・小集団(ホームグループ、エキスパートグループ)を設定することで役割が明確になり、より意欲的に話し合い活動ができるようにする。グループを小集団にすることで大勢の前で発言することに自信を持ってない生徒も発言しやすくする。(共有化)

〈集団的思考の視点〉

- ・集団的思考(ジグソー法)を取り入れることで生徒の話し合い活動が活発になったか。
- ・集団的思考を経て生徒の考えに変容がみられたか。

7 本時

(1) 本時の目標(第1時)

- ・本文を読み、それぞれの登場人物の立場や思いを整理する。

(2) 本時の展開(第1時)

時間	●学習内容 ○「発問」 ◎「中心発問」 *予想される生徒の反応	・学習活動 ・指導上の留意点、配慮事項 □つまづきへの手立て(UDの視点) ◇期待する効果
導入 20分	・ロールプレイ(説明2分・役割演技8分) 3人1組で3つの役割を全て演じさせる。 ○「困ったとき、つらかった時にほかの人から助けられた時、人はどう思うでしょう。先ほどのロールプレイやこれまでの経験から考えてみましょう。」(4分) ●教材の背景を捉えるために東日本大震災の様子を知る。(3分)	□役割を明確化するため、色分けのカードを使用する。 (役割A:桃、B:黄、C:緑色) ・「思いやり」の大切さを自分の経験から意識させる。 ◇後の展開で「登場人物たちの行為は互いに大きな被害を受け、大変な状況

	○「東日本大震災について知っていることはありますか。」 *大津波。 *福島第一原子力発電所の事故 *甚大な被害 など。 ○「被災した人たちはどんな思いでいただろう。」 (3分)	下におかれながらのものであった」ということを意識する。 □震災に関する掲示資料を用意する(視覚化) ・被災した方々の心痛を想像する。
展開 25分	●本文音読(教師が音読する)(8分) ●本文の内容を捉え、各登場人物の立場や思いを考える。(6分) ○「どんな登場人物が出てきたでしょう。」 〈予想される生徒の反応〉 *店主の塩川さん *常連の若者 *子供たち(立ち読み・募金箱設置) *近所の顔見知りの女性・自転車で二時間かけてきた女性(親) *新聞記者 (*書店に善意を寄せた人々) ○「あなたが共感した登場人物の思いを考えてみよう。何人でも構いません。」(5分) ・個人で考える ・発表する ◎「この文章を読んで、人間同士が生きていく中で大切なものは何だと思いましたか。」(6分) ・個人で考える *思いやりの心 *誰かを助けたいと思う心 *感謝の心 ・発表する	・ワークシート1配布 ・(太字:思いやりのある行為をした人、斜字:思いやりのある行為を受けた人) □誰が、何をした人物かわかるように図式化する。(視覚化) ◇立場によってさまざまな思いがあることを確認する。 ◇それぞれの「思いやり」があったからこそその出来事であったことに気付く。 ・キーワードとして「思いやり」という言葉を挙げておく。
まとめ 5分	・本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	

(3) 本時の目標 (第2時)

- ・ジグソー法を通して「思いやり」の心を持ち、「思いやり」の心を受け止めて心のきずなを作っていくことの大切さに気付かせる。

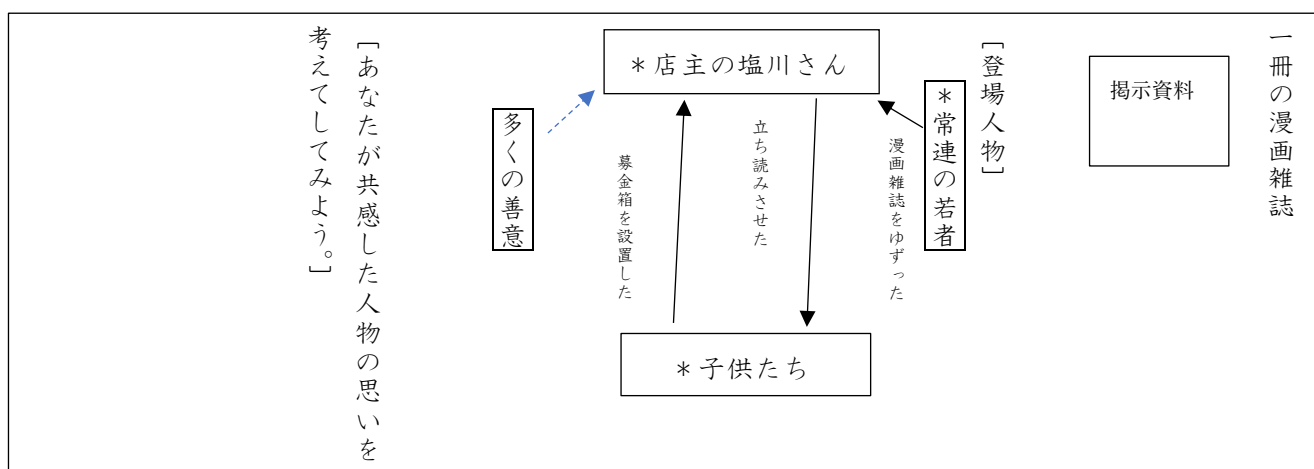
(4) 本時の展開 (第2時)

時間	●学習内容 ○「発問」 ◎「中心発問」 *予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項 □つまづきへの手立て (UD の視点) ◇期待する効果
導入 5分	●前時の確認 ・『思いやり』という観点から、それぞれの人物の行動についてグループで考えましょう。」	・本文の内容も確認しておく
展開 37分 (3分)	●ジグソー法の目的・手順を説明し、グループ分けする。	□グループ・座席・手順を掲示する。 ・ワークシート2配布
移動 (1分)	●エキスパート班に分かれて話し合い活動 個人で考える (3分) →話し合う (6分)	
活動 (9分)	A:『塩川』さんはどのような思いから子供たちに立ち読みをさせたのだろう。 *被災した子供たちを楽しませてあげたかった。 B:『店によく来ていた若い男性』はどのような思いから最新の『週刊少年 J』を『塩川さん』にゆずったのだろう。 *被災した子供たちを楽しませてあげたかった。 C:『子供たち』はどのような思いで店に募金箱を設置したのだろう。 *塩川さんに対する感謝の思い	・第1時で考えたことを参考にする。 ・話し合いがスムーズに行われるよう役割分担をする。(司会・記録・質問) ・話し合いを深めるための補助発問 →「なぜ」楽しませたかったのだろう。 ・話し合いが活発でない班には机間指導で助言する。 ◇それぞれの行動の背景に「思いやり」の心があったことに気付く。
移動 (1分)	●ジグソー活動	
説明 (3分)	●ジグソー班に移動してA B Cの順に意見を発表する。 ○「いずれも『誰かのことを思って』行った『思いやり』からの行動でした。『思いやり』が必要なことは皆さんわかっていますが、ここで改めて考え	・議論の焦点がずれないように、発表と議論で時間を区切り、教師が「思いやり」を全体に確認しておく。

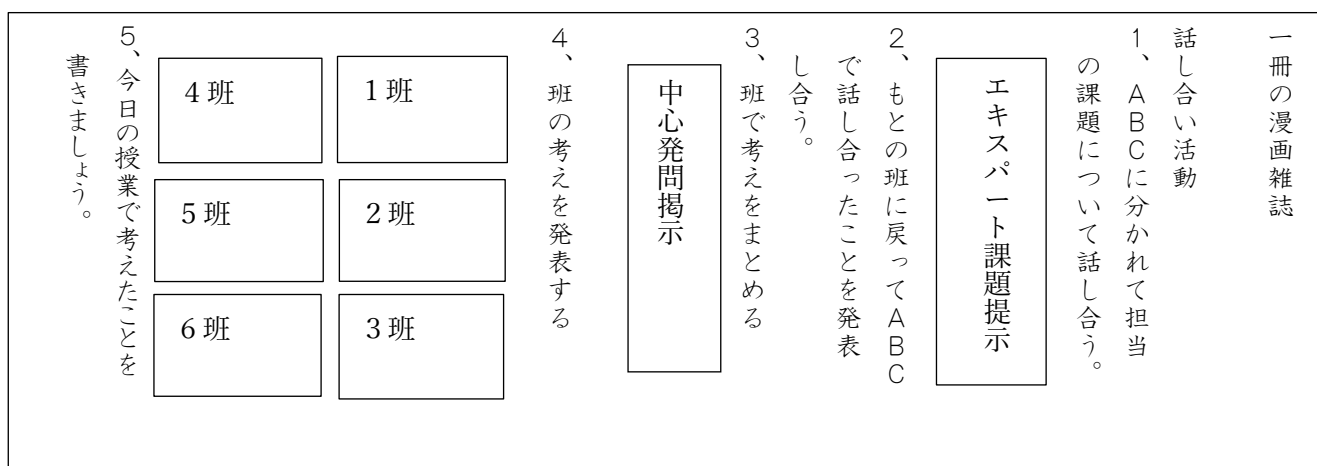
活動 (10分)	てみたいと思います。」 ●ジグソー班で考えをまとめる ◎「人間が生きていくうえで『思いやり』が必要なのはなぜでしょうか。」 個人で考える (2分) →話し合う (8分)	・ホワイトボードまたは A3 か B4 用紙にまとめさせる。 ◇「思いやり」はつながっていくことに気付く。 ・補助発問→「思いやり」によってどんなことが起こるかな？
	クロストーク	
(8分)	●学級で意見を交流する ・班ごとに発表させる。	・話し合いでまとめたホワイトボードまたは用紙を掲示する。
まとめ 8分	●授業を振り返る ○「今日の授業について考えたことをワークシートに書きましょう。」	◇「思いやり」の連鎖によってよりよい社会が作られていくことに気付く。

(5) 板書計画

第1時



第2時



(6) 授業観察の視点

〈課 題 設 定〉

- ・ 3つのエキスパート課題設定は中心発問について考えを深めるための課題として適切であったか。

〈 展 開 〉

- ・ 小集団による2つのグループ活動（ジグソー法）を取り入れることによって生徒の活動が活発になったか。また、生徒の考えに変容は見られたか。

〈指導上の留意点〉

- ・ 生徒は活動の目標や方法を理解し、能動的に動くことができたか。

第2時 展開部分ジグソー法細案

時間	●学習内容 ○「発問」 ◎「中心発問」 ＊予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項 □つまづきへの手立て（UDの視点） ◇期待する効果
展開 40分 (3分)	●ジグソー法の目的・手順を説明する。 「今日は三つの課題（ABC）を分担してグループを作り、グループごとに話し合って考えをまとめます。それを生活班に持ち帰って発表し合います。それぞれの班ごとに発表されたABCの考えをふまえて後に示す課題について話し合います。」 1、手順を板書する。 2、グループ分けする。 3、移動指示	・手順は板書し、課題はその都度掲示する。 ・グループ分けはエキスパート班、ジグソー班を示した表を掲示または配布する。 ・ワークシート2配布 ・エキスパート課題を提示する。
移動 (1分)		
活動 (10分) 3分 7分	エキスパート活動 ●エキスパート活動 「まずはワークシートに自分の考えを書きましょう。」 「ABCの班に分かれてそれぞれの課題について話し合います。」 A：『塩川』さんはどのような思いから子供たちに立ち読みをさせたのだろう。 ＊被災した子供たちを楽しませてあげたかった。 B：『店によく来ていた若い男性』はどのような思いから最新の『週刊少年J』を『塩川さん』にゆずったのだろう。 ＊被災した子供たちを楽しませてあげたかった。 C：『子供たち』はどのような思いで店に募金箱を設置したのだろう。 ＊塩川さんに対する感謝の思い	・第1時で考えたことを参考にする。 ・個人で考える時間2分間をとる。 ・話し合いがスムーズに行われるよう役割分担をする。（司会・記録・質問） ・話し合いを深めるための補助発問→「なぜ」楽しませたかったのだろう。 ・話し合いが活発でない班には机間指導で助言する。 ◇それぞれの行動の背景に「思いやり」の心があったことに気付く。 ・生活班に戻った時に発表できるよう、グループの考えをワークシートにメモさせる。

ジグソー活動		
移動 (1分)	●ジグソー班（生活班）に移動してA B Cの順に意見を発表し合い、班での話し合いをします。まずは、A B Cのグループで話し合ってきたことをA B Cの順番で発表しましょう。」	・議論の焦点がずれないように、発表と議論で時間を区切り、教師が「思いやり」を全体に確認しておく。
活動 (15分)	・班ごとにAから順番に発表する。 ○「いずれも『誰かのことを思って』行った『思いやり』からの行動でした。『思いやり』が必要なのは皆さんわかっていますが、ここで改めて考えてみたいと思います。」	・ホワイトボードまたは A3 か B4 用紙にまとめさせる。
4分	●ジグソー班で考えをまとめる	・中心発問を掲示する。
2分	◎「人間が生きていくうえで『思いやり』が必要なのはなぜでしょうか。」	◇「思いやり」はつながっていくことに気付く。
11分	個人で考える（4分）→話し合う（7分）	・補助発問→「思いやり」によってどんなことが起こるかな？
クロストーク		
活動 (8分)	●学級で意見を交流する ・班ごとに発表させる。	・話し合いでまとめたホワイトボードまたは用紙を掲示する。
まとめ (7分)	●授業を振り返る ○「今日の授業について考えたことをワークシートに書きましょう。」	◇「思いやり」の連鎖によってよりよい社会が作られていくことに気付く。

道徳ワークシート① 「一冊の漫画雑誌」

Step1 困ったとき、つらかった時にほかの人から助けられた時、人はどう思うでしょう。
先ほどのロールプレイやこれまでの経験から考えてみましょう。

Step2① あなたが共感した人物について、その人の考えや思いを想像してみましょう。

共感した人物	考えや思い	メモ・友達の意見

Step2② 人間が生きていく中で大切なものは何だろう。

Step3 今日の授業で考えたことを書きましょう。

3年 組 番 ()

道徳ワークシート② 「一冊の漫画雑誌」

Step1、担当の課題について話し合おう

私の課題

＜ 話し合いメモ ＞

自分の考え	グループの考え	まとめ

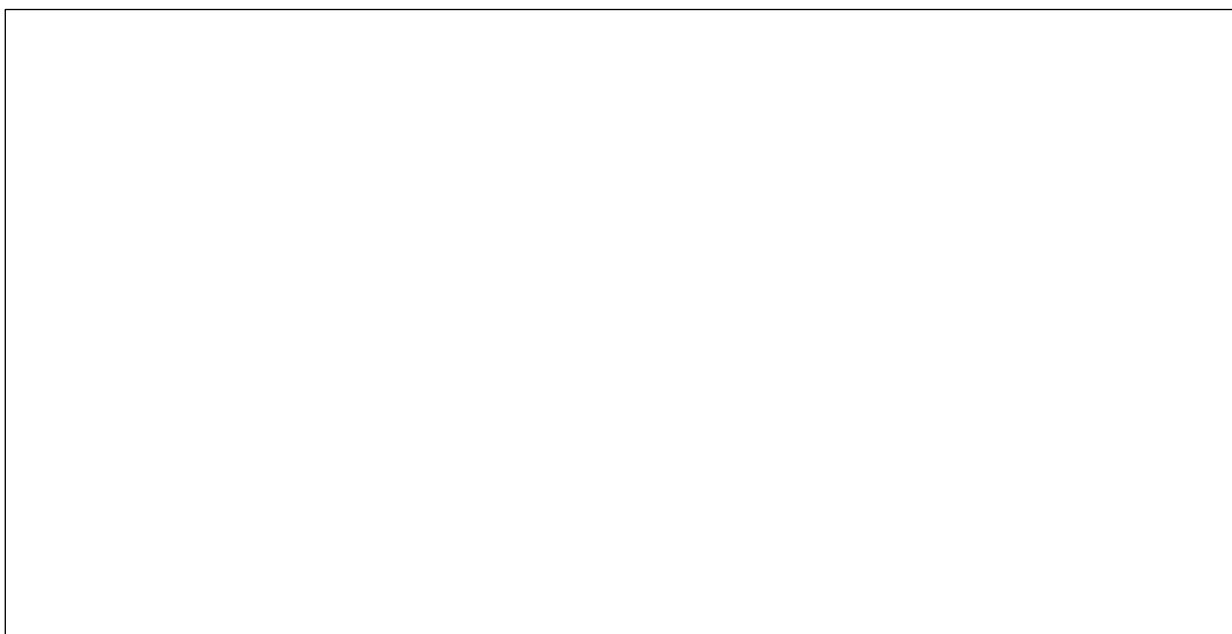
Step2. 班で話し合おう

A グループ	B グループ
C グループ	班の考え

Step3、学級で意見を発表し合おう ……友達の意見などメモしておこう！



Step4、今回の授業を通して考えたことを書きましょう。



〈振り返り〉

当てはまる ← → 当てはまらない

- 1、話し合い活動ではたくさん発言をすることができた。……………（４・３・２・１）
- 2、友達の見解を興味深く聞くことができた。……………（４・３・２・１）
- 3、話し合い活動をとおして自分の考えを深めることができた。……（４・３・２・１）
- 4、学んだことをこれからの生活の中で大事にしたいと思った。……（４・３・２・１）

３年 組 番（ ）